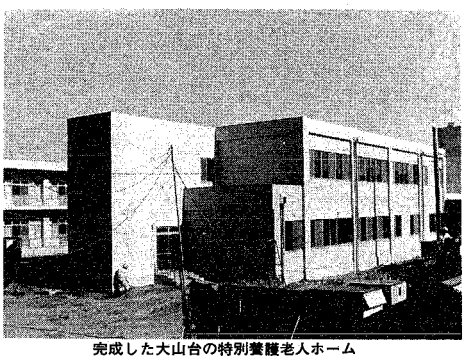
福祉

高齢者事業団が発足
～老人福祉～


完成した大山台の特別養護老人ホーム

老人健康診査 61歳も対象に

老人の健康診査の対象を市単独でさらに一歳引き下げ六十一歳以上の方を対象に実施しました。また、精密検査の項目に市単独で膝関節の検査を付け加えて内容の充実を図りました。対象者四万八千人のうち一万七千人が受診し受診率は三六・二％でした。新年度は対象年齢をさらに一歳引き下げ目標の六十歳に達します。

老人の生きがい対策

高齢者事業団が発足　お年寄りの生きがいと就労の場を求めて、高齢者事業団が昨年の七月に発足しました。一月末までの実績は、会員が四百十一人、仕事の受託件数二百七十六件、契約金額が千五百万円にものぼりました。

大形・中山に老人憩いの家　お年寄りに人気のある老人憩いの家を大形と中山に建設しました。新年度は大山台と坂井輪南地区に新設します。これが完成しますと、市内の憩いの家は十六か所になります。

居室整備資金を貸し付け　お年寄りの専用居室の増改築などに要する経費として八十五万円を限度として貸し付け、四十七件、約四千万円の利用がありました。新年度は限度額を十五万円アップし百万円とします。

老人クラブへの助成　市内の老人クラブ二百八十九団体に対し、その運営費の一部にと二千万円を補助しました。

無料入浴券の交付　六十五歳以上のお年寄りを対象に公衆浴場の無料入浴券を一人当り月四枚交付しました。一万二千人の人に交付し、利用枚数は四十五万枚にも達し、お年寄りに喜ばれました。

ねたきり老人対策

特養老人ホームを建設　八億一千万円をかけて大山台に建設中だった特別養護老人ホーム（定員百人）が昨年十一月に完成しました。

また、在宅ねたきり老人に対し、十五日を限度として同ホームに収容する在宅ねたきり老人短期入所制度を実施しました。

家庭奉仕員を派遣　二十人の家庭奉仕員が日常生活を営むのに支障のあるお年寄りの家庭（対象百八十六人）を週一、二回訪れ、日常生活の世話を行いました。

入浴車を派遣　二台の入浴車で、百四十人のねたきり老人の家庭を訪れ入浴サービスを実施しました。

その他、ギャッジベッドや車椅子などの介護器具の貸与、寝具の無料乾燥券の交付などを行いました。

ひとり暮らし老人対策

ひとり暮らし老人や老人夫婦世帯に福祉電話を貸与しました。

今年度から重度の視力障害者で、社会生活上外出することが不可欠なときに付添人がいないため支障がある場合にヘルパーを派遣しました。いままで、二百三十八件の利用がありました。

移動入浴車を派遣　重度の身体障害児（者）の家庭（二百十五世帯）に対し延べ三百六十回入浴車を派遣しました。

手話奉仕員を派遣　ろうあ者が公共機関、医者などへ行く時の手話奉仕員の派遣は四十五回を数えました。

リフト付福祉タクシー料金を助成　車いす利用の重度身体障害者がリフト付タクシー（大型料金）を利用するに対し、延べ五千回派遣との差額を助成しました。千三百回の利用があり、喜ばれました。

その他　保護者が一時的に障害者（児）の介護ができなくなったとき、保護者同士の助け合いとボランティアの協力による短期里親制度を実施しました。そのほか福祉電話の設置、補装具や日常生活用具の給付や貸与、医療費の助成などを行いました。

住宅整備資金を貸し付け

障害者の専用居室の増改築などに要する経費として、百三十五万円を限度として貸し付けました。十六件、千六百万円の利用がありました。

家庭奉仕員を派遣　十六人の家庭奉仕員で、百二世帯に対し、延べ五千回派遣して適切な介護を行いました。

入浴車を派遣　重度の身体障害児（者）の家庭（二十五世帯）に対し延べ三百六十回入浴車を派遣しました。

手話奉仕員を派遣　ろうあ者が公共機関、医者などへ行く時の手話奉仕員の派遣は四十五回を数えました。

リフト付福祉タクシー料金を助成　車いす利用の重度身体障害者がリフト付タクシー（大型料金）を利用するに対し、延べ五千回派遣との差額を助成しました。千三百回の利用があり、喜ばれました。

その他　保護者が一時的に障害者（児）の介護ができなくなったとき、保護者同士の助け合いとボランティアの協力による短期里親制度を実施しました。そのほか福祉電話の設置、補装具や日常生活用具の給付や貸与、医療費の助成などを行いました。

ひしのみ園を建設
～障害福祉～

障害福祉は幼児の早期療育の拡充と在宅障害者対策の充実を中心に諸施策を講じました。

通園指導を要する障害幼児の早期療育を図るため、神道寺に二億六千万円をかけて**ひしのみ園**を完成させました。四月からは通園バス二台を運行し、定員五十人で開園します。

盛況なことばの相談室

ことばの遅れで問題をかかえている幼児のうち、特に医学的な治療を要しない幼児について相談や指導訓練を行いました。二月末現在で相談申し込みは九十七人、そのうち、指導訓練を受けた人が七十六人、前年度から引き続き訓練を受けている人八十四人を加えますと百六十人の人が指導訓練を受けました。ちなみに指導を修了した人が五十人いますので、現在百一人の人を指導中です。

盲人ガイドヘルパーを派遣

好評の盲人ガイドヘルパー制度

今年度から重度の視力障害者で、社会生活上外出することが不可欠なときに付添人がいないため支障がある場合にヘルパーを派遣しました。いままで、二百三十八件の利用がありました。

保育園
定員を810人増
～児童福祉～

要保育児童の全員入所を目標に保育園の整備、充実を図っていますが、今年度も市立保育園の新、増改築や私立保育園の建設費の助成を行い、定員八百十人増百二十人

新築保育園＝同六十人→九十人
本馬越保育園＝同九十人
岡山保育園＝同六十人

増築
松崎保育園＝同九十人→同百二十人
紫竹山保育園＝同九十人
網川原保育園＝同九十人

改築（航空機騒音対策）
舟江保育園、みなと保育園
新年度も定員を四百五十五人増やし要保育児童の全員入所を目指していきます。

ひまわりクラブ三か所増設

児童が放課後、学校から家庭に帰っても保護者などがいない家庭の児童（小学校三年生以下）を対象とした学童保育「ひまわりクラブ」を浜浦小、坂井輪小、万代小学校内にそれぞれ新設しました。定員は各四十人。また、古くなった木戸ひまわりクラブは中山にできたコミュニティセンターの中に移ります。新年度は東曽野木と五十嵐小学校区内に開設します。

このほか有明児童センター（定員二百人、ひまわりクラブ、体育遊ぐ室、工作室、図書室などの機能を持つ）の建設費の一部四千五百万円を補助しました。

母子家庭の福祉

母子家庭の交通災害共済加入金の全額助成を行いました。また、一人当り月四枚公衆浴場の無料入浴券を交付しました。そのほか、小学校入学児童に祝金を支給するほか、中学校卒業後就職する児童に対して支度金を支給しました。

中小企業 農林水産

生活排水路二万㍍を整備
環境改善センターを建設

農林水産業は、生産基盤と生活環境基盤の整備を中心に諸施策を講じました。

農村環境改善センターの建設に着手　大江山地区を対象とした農村総合モデル事業の目玉となる農村環境改善センター（総事業費三億七千四百万円）の建設に着手しました。完成は十二月の予定。

集落排水路整備　農村地区の生活環境基盤整備のため二億六千万円をかけて生活排水路二万一千㍍を整備しました。

農道・農業用排水路整備　生産基盤整備のため一億六千万円をかけて農道、農業用排水路二万九千㍍を整備しました。

基盤整備　国・県の事業対象にならない減反に伴う一ぱ未満の基盤整備に対し、市は単独で補助対象にしていますが、六件、八百七十万円を補助しました。

野菜安定供給対策事業　野菜の安定供給を目指して、市は独自にナス、キュウリ、レタス、カリフラワーの四品目を指定しました。そのうち六十二ぱが補てん対象になり二百十七万円を助成しました。

集出荷場の建設に助成　赤塚第一農協、赤塚農協の農産物集出荷場の建設に対し助成を行いました。

クルマエビ70万尾を放流しました。

クルマエビなどを放流　市が自主生産したクルマエビの稚魚七十万尾を放流しました。また、アサリ、コイ、フナ、ウナギ、サケなどの稚魚の放流を行いました。

人工魚礁を設置　千三百万円をかけてかまぼこ型七基、円筒型八ケの人工魚礁と減船の対象になった船一隻を沈設し魚の宿としました。

新漁場開発に補助　新しい漁法と漁場を開発するため離底びき漁法開発事業に補助を行いました。また、太夫浜に市単独で駐車場（七十八台分）の建設を行いました。そのほか、松浜港と新川港の改修工事を完成させました。

融資総枠 八十六億円に

中小企業特別融資　六百五十五件、十八億五千百二十五万五千円

緊急小口融資　三件、三百万円

地方産業育成資金　百二十六件、二億一千八百九十八万円

大型店対策資金　三十六件、一億六千五百九十五万円

中小企業振興基金　六十一件、二十四億三千七百五十九万円

無担保無保証人融資　百五十件、二億千九百万円

商店街環境整備事業補助金　七件、千百八十三万五千円

独立開業資金を貸付　四十件、一億二千万円

中小企業診断士を配置　週一回、市民相談室内で経営相談に当たりました。二月末現在で二十七件の利用がありました。

労信協に三千万円を予託　未組織労働者が労働金庫から融資を受けられるように、その保証機関である労働信用基金協会に三千万円を予託しました。

私立　新築
第二つばら保育園＝定員九十人
しなの保育園＝同九十人
中道山保育園（無認可→認可）＝九十人
いぶき保育園＝同六十人

市立　新築
中山保育園＝定員百二十人
山木戸保育園（全面改築）＝同九十人→百二十人
太夫浜保育園＝同六十人→九十人
内訳は次のとおりです。

増改築
山十嵐保育園
舟江保育園、みなと保育園